

剣鬼 (1965)

メディア 映画

ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 Color

時間 83分

初公開日 1965/10/16

【解説】

柴田錬三郎の同名小説の中から『人斬り斑平』を映像化した作品で「斬る」「剣」に続く三部作の最終作である。監督・脚本・主演は数多くの作品をともに作り上げてきた三隅研次、星川清司、市川雷蔵が務めた。

犬と人間の間にも生まれたとして世間から蔑まれてきた斑平は、花造りの腕を見込まれ登城を許される。さらに馬よりも早く駆けることができる俊足から、馬乗下役を仰せつかった。そのころ藩主式部少輔正信は奇行が目立ち始め、事実の発覚を恐れる小姓頭は斑平に公儀隠密を斬れと命じる。斑平は見知らぬ浪人の居合術に魅せられており、その技を使って隠密とされる二人の武士を斬り殺した。さらに事態は悪化するが、斑平は小姓頭に命じられるまま、次々に人々を斬り続けるのであった。

【クレジット】

監督 三隅研次

製作 田辺満

企画 加賀四郎

原作 柴田錬三郎

脚本 星川清司

撮影 牧浦地志

美術 下石坂成典

編集 菅沼完二

音楽 鎗木創

助監督 友枝稔議

出演 市川雷蔵 斑平

姿美千子 お咲

睦五郎 友蔵

工藤堅太郎 朝蔵

戸浦六宏 海野正信

五味龍太郎 虚無僧

内田朝雄 醍醐弥一郎

佐藤慶 神戸菊馬